

### つながりを大切に

宇都宮市立緑が丘小学校

校長 樽井 圭子

コロナ禍三年目となりますが、少しずつ学校行事や地域の行事を再開し、児童の活躍の場が増えていきます。

過日、本校で緑が丘地区社会福祉協議会の皆様と「お年寄りの皆様との交流会」を行いました。コロナ前のように交流給食や児童が全員参加しての実施はできませんでしたが、五年生代表児童が進行し、一・三・五年生が運動会のダンスを披露させていただきました。

御参加いただいた皆様から盛大な拍手やお褒めの言葉をいただき、「ドキドキした」、「頑張ってよかった」、「ダンスを見ることができてよかった。」と、口にする児童は笑顔でいっぱいでした。地域の皆様との交流により、児童の頑張りを認め、励ましていただくことは、児童の心を育てていくことに大きな力が

あることを改めて感じたところです。

今年も「豊かなつながりが通して、誰もが生き生きとかがやく学校づくり」を柱に、学校と家庭、地域の皆様と連携を図りながら学校教育活動を進めていきたいと考えています。児童が自分のよさに気づき、自信をもって生活を送ることができるよう、今後とも温かい御支援をよろしくお願いいたします。

### 子ども会五十周年記念

子ども会育成会連絡協議会

会長 加藤 孝明

今年度五十周年を迎える事ができ、それを記念して「ウォークラリー大会」を開催させていただきました。

多くの参加者の皆さんと元気いっぱい歩くことができました。

コロナの影響で地域行事なども三年程中止や延期になってしまいましたがようやく少しずつ動き出したのではないかと思います。

まだ完全ではありませんが来年度こそは子ども会活動にもある夏祭り創作みこし、ラジオ体操、飯ごう炊飯体験などが開催できるように感染対策を考えて計画を進めて行きますので、皆様のご協力と参加をお願いします。



### コロナ禍前の日常を 目指して

緑が丘小学校PTA

会長 森田 直樹

感染拡大も何度か波を乗り越え、徐々に経済活動を再開する気運となってきました。

しかしながら、コロナ禍前と同じように行事を催すことはいまだにできていません。

緑丘小学校PTAでは、いかに子供たちに体験を提供できるか、どこまでやれるかを模索し続けています。悩むことも多くありますが、子供たちがより多くの体験ができるよう活動していきたいと考えています。

地域の皆様からも、ご協力を頂きますと幸いです。



紙幅の余裕を活用し、前述二団体の副会長をご紹介します。

「子ども会育成会」副会長

庄司 良博 (江曾島一)

大関 啓二 (緑三)

速水 芳夫 (緑三)

秋澤こず恵 (江曾島一)

石塚 純 (江曾島一)

「緑が丘小PTA」副会長

庄司 良博 (江曾島一)

薄井 雅夫 (東浦)

岡本 陽子 (江曾島二)

石塚 純 (江曾島一)

宇賀神郁夫 (緑小副校長)

### 青少年育成会

#### 活動方針紹介

緑が丘地区青少年育成会

会長 石川 清

今、子ども達がおかれている環境は教育課程における不登校、インターネットや、SNSを用いた陰湿ないじめ、また、いじめによる自殺者が増え、あつとを絶たないなど大人社会が作り上げた社会組織、人間関係が子ども達に影響を与えたものも少なくないと考えている。核家族化、情報過多による人と人との触れあいが希薄になってしまった一因でもあると考えている。

そこで、青少年育成会は次の事を念頭に置き、活動を行っている。

社会教育の原点にたち、実践を通して、自らが学び続ける力を身につけて貰う活動。心豊かに逞しく生きられるよう地域の機関・関連団体と連携した事業の推進を進めていく事を方針とし、主な活動は

① 組織活動の充実

- ② 会員及び指導者研修会参加
- ③ 青少年団体活動の援助
- ④ 地域環境の浄化（環境点検活動 巡回指導活動）
- ⑤ 地域活性化事業の推進

として、外国文化との交流事業、市主催ボランティア活動への協力、地域事業への協力を展開していく事である。

なお、参考までに過年度の写真を掲載しました。



### コロナに負けない 体づくり

緑が丘地区健康づくり推進協議会

会長 篠原 久恵

私たち緑が丘地区健康づくり推進協議会は、皆さんの健康寿命を延ばすことを最大の目標に活動を進めています。

毎週月曜日の午前10時から、南生涯学習センターを会場に、コロナウイルス感染予防に十分な対策を講じたうえ、ストレッチ体操やリズム体操を楽しんでいます。

また、今年も三年ぶりに開



催の「コミセン祭」で、野菜の計量体験に挑戦してもらったところ、日ごろの野菜不足に気づかれた参加者もおられて、有意義な企画になりました。心身ともにコロナに負けないよう、一緒に体を動かしてみませんか。

### 安全・安心のまちづくり

防犯協会

会長 岡野 旭

日頃より安全で安心して暮らせる地域づくりにご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

長期化する感染症の影響で各種行事の内容が一変しました。

子どもの健全育成のための環境点検活動、全国地域安全運動等々が、感染拡大防止のため全体的な統一活動は中止をして各自治会において規模を縮小して活動を継続してまいりました。

一日も早くコロナが収束し、来年こそは地域に安全・安心な生活が戻ってくることを願っています。

### コロナ禍の立哨と 横断旗の設置

南安協 緑が丘支部  
支部長 安野 忠孝

三年ぶりに立哨を実施しました。秋の全国交通安全県民総ぐるみ運動が九月に実施されましたが、今回は簡略縮小しての実施となり小人数規模の活動となりました。

また、予算の有効活用の観点から信号機のない横断歩道に横断旗を設置しました。横断歩道を渡る時は大いに利用していただきたいと思ひます。



これからのコロナ禍での活動となりますが、上部事務局の指示に従い、粛々と活動してまいりますので、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。

### コロナ禍の中での活動

緑が丘連合自治会女性部会  
会長 根本 京子

今年度の連合自治会女性部会は、さわ会の開催と緑が丘体育祭に参加する事ができました。

さわ会は四月～七月まで開催し、四月～六月までは注文弁当で対応、七月は猛暑によりお菓子で対応しました。久しぶりの開催により参加された皆様は大変喜んでおられました。一月は新春交流会を予定しています。

ふるさと祭は急遽中止となりましたが、午前中だけ行われた緑が丘体育祭は天気も良く盛大に行うことができ、地域の皆様の笑顔が見られました。

新型コロナウイルスの第八

波の到来やインフルエンザとの同時流行が懸念されていますが感染症対策を行いながら、これからの地域貢献に努めていきたいと思ひますので、女性部の活躍を宜しくお願い致します。



### 宇都宮婦人防火クラブ連合会 結成五十周年記念式典

緑が丘婦人防火クラブ  
会長 今井 玲子

去る八月二十六日午後二時より宇都宮市婦人防火クラブ連合会結成五十周年記念式典が宇都宮市文化会館にて行われ

れました。緑が丘地区婦人防火クラブより四名が参加しました。本来は昨年初めの予定でしたが、このコロナ禍の影響により延期され、このたび市長をはじめとして来賓の方をお招きして盛大に行われました。

また講演も行われ、NHKとちぎ630に出演されていますが、演題は気象災害の基礎知識でした。

婦人防火クラブも少しずつ活動が出来るようになってきています。

最後に私事ですが式典において感謝状をいただきました。



### 今後の防災会

緑が丘地区防災会

会長 室井 健吾

コロナ禍の中で、令和二年・三年度の防災訓練は中止されました。

四年度は、各研修会も実施され出し、緑が丘地区の防災訓練も令和五年三月五日(日)に実施する予定です。

実施内容は、今までの様な内容で出来るのか、関係機関と調整の上、一月末までに決めたいと思いますので、ご案内の時は皆様の参加をよろしくお願い致します。

### 自転車の安全利用の促進について

緑が丘交通安全促進協議会

会長 小林 秀明

自転車の安全利用を促進するための広報活動に努めてきたが、依然として、交通ルールを遵守しない自転車利用者に対し、多くの批判的意見が寄せられていることから、自転車に関する交通秩序の更なる

る整序化を図るとして、内閣府は、国及び地方公共団体に對し措置を講ずるよう、十一月一日に通達されたところである。

宇都宮市は、令和三年六月に「第十一次宇都宮市交通安全計画」を策定し、「子どもや高校生」「高齢者」「自転車」の安全を確保するための取り組みを重点的に実施するとしています。至近年度の自転車事故状況は、中学生が七〇%、高校生の七九%が、自転車乗車中の事故で、交通事故全体に占める割合は、二九%を占めています。「大人も子ども」

緑が丘地区内の交通事故発生状況

区分	令和2年	令和3年	前年比較
(緑が丘地区)	17件	15件	-2件
江曾島1丁目	2件	5件	+3件
江曾島2丁目	4件	1件	-3件
東浦町	1件	3件	+2件
東原町	2件	2件	±0件
双葉1丁目	3件	1件	-2件
双葉2丁目	0件	0件	±0件
双葉3丁目	2件	3件	+1件
緑1丁目	1件	0件	-1件
緑2丁目	2件	0件	-2件
緑3丁目	0件	0件	±0件

も自転車の交通ルールを守り、被害者は勿論、加害者にもならないよう安全な乗り方に努めましょう。

### 3年ぶりの

### 自治会研修旅行

緑が丘連自治会

事務局長 丸山 忠

コロナの影響で何も出来なかつた二年間が過ぎ、久しぶりに自治会長研修旅行を民児協との合同で十月に実施しました。

行先は東日本大震災で原発火災の被害を受けた福島県双葉町で、「原子力災害伝承館」を見学してきました。当時の災害状況を展示している施設を見たり、今なお帰宅困難地域として帰宅が出来ないでいる復興途中の街並みを見て大変な災害であったと改めて再認識した次第であります。我が緑が丘地域は本当に災害が少なく住みよい街ですが、いつ何時どんな災害が起きるかも知れません。常に油断せず災害に備えた準備はしてお



きたいと心に刻まれた研修でありました。

### 活動賞

緑老連・緑寿会

会長 加藤 三郎

緑寿会は令和二年八月に老人クラブ活動が他の模範と認められ、栃木県知事表彰を受けました。令和四年九月には栃木県老人クラブ連合会より「活動賞」を戴きました。平成十八年から池畑公園にある花壇の管理を続けているボランティア活動が認められたのです。これは会員皆さんのご